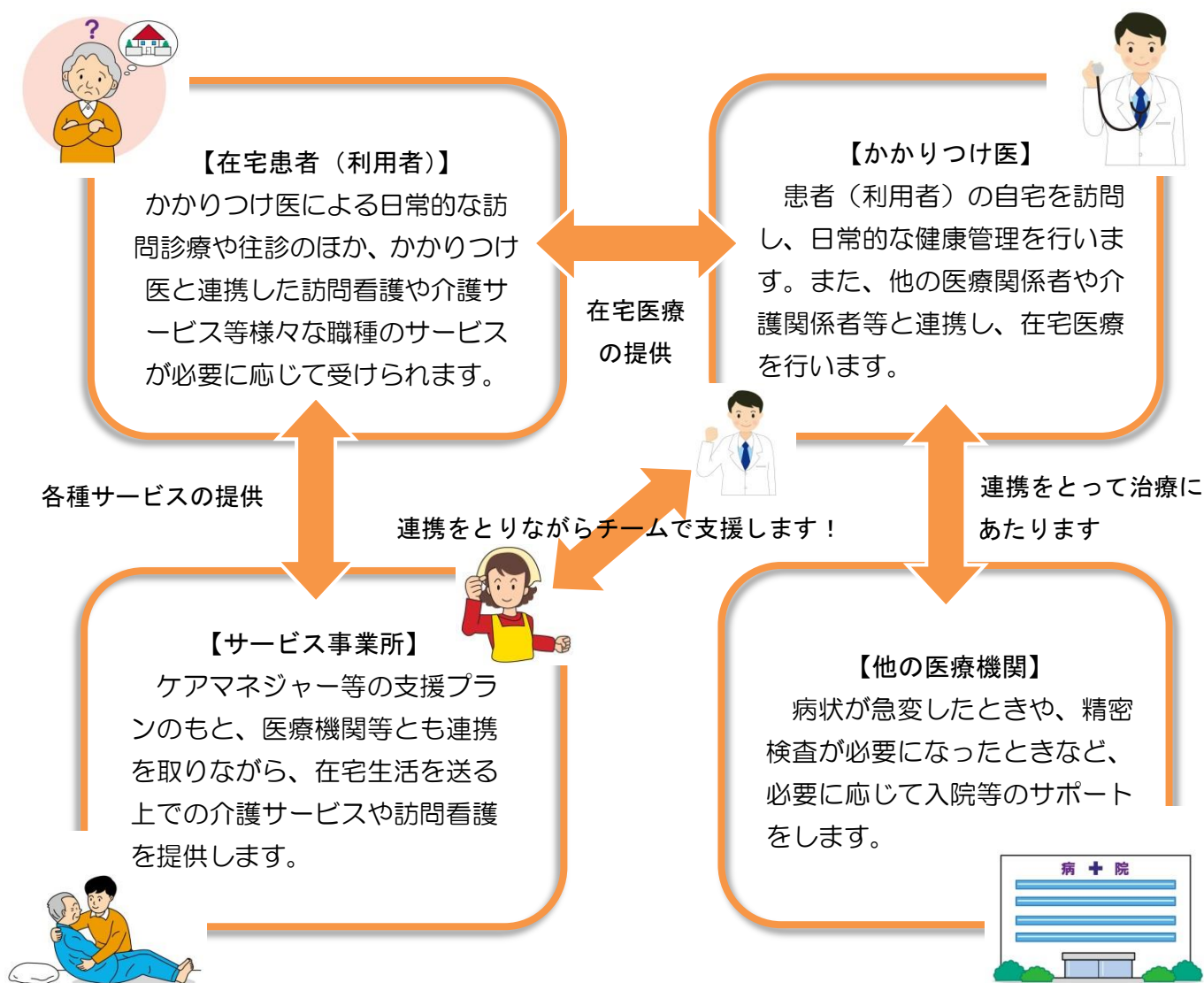


在宅医療が必要になったら

在宅医療のイメージ

在宅での療養生活の不安をなくすために、かかりつけ医は他の医療機関と連携します。また、介護事業所、訪問看護事業所等、他の関係者とも連携しサポートしていきます。



コラム：かかりつけ医が在宅を訪問して医療を提供する場合には、「往診」と「訪問診療」があります。「往診」は、主に病状の急変時など不定期に行う治療のことで、「訪問診療」は、定期的に訪問して行う医療処置のことをいいます。在宅医療を進めていく上では、「訪問診療」により定期的な訪問をメインとした支援を進めていくこととなります。

在宅医療にかかわる職種とその役割

在宅医療は、かかりつけ医が中心となって支援をしますが、かかりつけ医以外にも次のような様々な職種が連携して療養生活をサポートします。このように、医療と介護が連携し、患者（利用者）さんの情報共有をしていくことで、ご本人やご家族の不安を和らげていくことにもつながります。

